

一般会計予算は過去最高191億5300万円

暮らしに密着した事業をチェック!

元気な筑後市づくりのために



ホークスファーム連携推進事業



7,999万円

HAWKSベースボールパーク筑後開業2年目を迎え、スポーツを通じた青少年育成や地域活性化を図ります。

創業支援、企業誘致による雇用創出 1,330万円

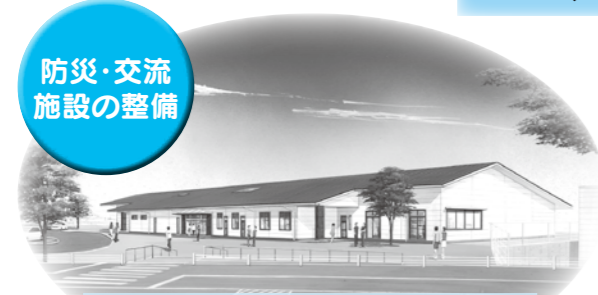


観光の推進

2,239万円

市内の観光資源の魅力を発信し、筑後七国の広域連携を進め、地域経済の活性化を図ります。

生活基盤の整備 11億6,704万円



防災・交流施設の整備

2億6,627万円

29年度に開業の「北部交流センター」は通常時は市民交流の拠点として活用します。

待機児童の解消



6億4,410万円

待機児童対策として、私立保育所3園の改築により受入枠の拡大を図ります。

市民の健康づくり 1億3,575万円

若者の定住促進



3,300万円

特に若年層をターゲットとした定住促進に力を入れます。

元気な農業の実現 1億3,727万円



教育環境の整備

1億1,073万円

少人数学級編成事業など、児童生徒の「生き抜く力」を育む教育活動の推進をめざします。

過去最高の予算額
29年度一般会計予算は、前年度より1億8300万円増の191億5300万円となり、昨年に引き続き過去最高の予算となった。

委員会では、各款ごとに説明があり、採決の結果、賛成多数で原案可決された。その後、特別会計8議案、企業会計(水道事業会計)について説

行政区とのすみわけは
これまで、行政区と協議会のあり方について

問 校区の実態はどうか。
答 1月以降、各協議会との話し合いを持った。

附帯意見を可決
29年度一般会計予算の校区コミュニティ関連予算について、次の附帯意見を付すことを全会一致で可決した。

予算撤回後、再提出
29年度一般会計予算は当初提出されていたものが撤回され、校区コミュニティ関連予算を9月までの半年分に減額修正(減額は予備費に計上)した上で、再度提出された。

意見
元々、校区コミュニティ構築は、市民からの提案ではなく、市が構築したものである。準備のための議論も十分に

問
答
は、3年間で整理をするとのことだったが、結局できなかったのでは。

問
答
は、3年間で整理をするとのことだったが、結局できなかったのでは。

問
答
は、3年間で整理をするとのことだったが、結局できなかったのでは。

平成29年度一般会計、特別会計、企業会計の当初予算については、予算特別委員会(以下委員会)を設置し、3月17、21、22日の3日間、全議員による審査を行った。

校区コミュニティに意見、質問が集中
委員会では、特に「行政区と校区コミュニティ協議会(以下協議会)」のあり方について意見、質問が集中した。

明があり、採決の結果、全議案が原案どおり可決された。

校区コミュニティ協議会
校区コミュニティ協議会(以下協議会)は、校区コミュニティの活性化を図るため、校区コミュニティ協議会を設置し、校区コミュニティの活性化を図ります。

校区コミュニティ関連予算を減額し、29年度予算再提出
校区コミュニティ協議会(以下協議会)は、校区コミュニティの活性化を図るため、校区コミュニティ協議会を設置し、校区コミュニティの活性化を図ります。